

11月上旬、西尾市で冬春キュウリ機械選果スタート 本格出荷開始、翌年6月までに約3,000トﾝ

西尾市で冬春キュウリが11月より本格出荷を迎えます。

西尾市内の冬春キュウリ生産者で組織するJA西三河きゅうり部会（平井優部会長）は、11月3日より、JA西三河池田センター（西尾市一色町）で平成30年産冬春キュウリの機械選果を開始します。

西尾市はキュウリの施設栽培が盛んで、11月から翌年6月にかけて約3,000トﾝのキュウリを生産する大産地です。今年も11月上旬から徐々に出始め、11月中下旬より本格出荷を迎えます。

池田センターのキュウリ選果機は、キュウリの曲がりや太さ・長さをカメラで瞬時に判別し、等階級別に選別します。パート選果員は選果ラインにキュウリを並べたり、機械により等階級に選別されたキュウリを箱詰めする作業に取り組みます。



(上) 選果ラインにキュウリを並べるパート選果員
(下) 選別されたキュウリを箱に詰める

■機械選果 取材対応日■

【日時】11月5日（月） 午前9時30分集合

【集合】JA西三河 池田センター

（西尾市一色町池田東八反15

電話：0563-72-1633）

■今年のキュウリの作柄見込み（10月17日現在）

定植は9月下旬から10月上旬にかけて行われました。これ以後の天候や日照量は平年並みで今のところ順調です。

出だしの作柄は11月までの日照量に大きく左右されますが、天気予報によれば台風の発生などもなく、堅調に推移しそうです。

【JA西三河きゅうり部会 概要】

部会員数：40人 耕作面積：約11.5畝

出荷量：約3,000トﾝ（平成29年実績、加工品向け出荷等含む）

収穫期：11月～6月（ピークは4月）



西尾市のキュウリ生産の概要

～農業へのICT利用のさきがけ、情報共有で産地力育てる～

■西尾のキュウリ生産の特徴■

西尾市内では加温したハウスの中で野菜を育てる『施設園芸』が盛んで、キュウリ・トマト・イチゴといった作物を秋から初夏にかけて生産しています。大消費地に近いことや、平坦な土地、日照量に恵まれた温暖な気候などの条件に恵まれ、生産性の高い農業を行っています。

J A西三河きゅうり部会は、施設園芸の生産者部会の中でも情報共有や技術革新にいち早く取り組んでいます。ICTツール導入を他部会に先駆けて進めており、現在40人の部会員全員が環境測定器「あぐりログBOX」と食・農クラウド「Akisai（秋彩）」を導入。ハウス内の温度・湿度・CO2濃度の推移や、農薬・肥料の施用の情報を共有し、部会内の委員会で検討を加え、ノウハウ化を目指しています。

データを基にした部会員同士の情報交換も盛んで、若手就農者がベテラン農家なみの収量を達成することも。高品質のキュウリを適正価格で販売することを目標に、常に新たな挑戦を続けています。



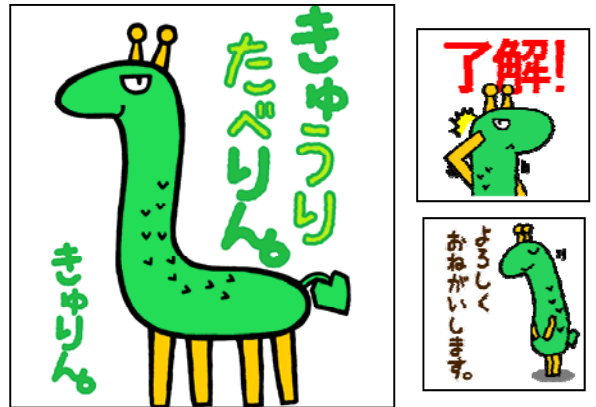
環境測定器「あぐりログBOX」（右側の白い箱）と、スマートフォンで温度・湿度などを確認する農家

■部会員の生み出したキャラクター「きゅりん。」

西尾市のキュウリ生産者は自分たちの生産したキュウリのPRにも積極的に取り組んでいます。

右のキャラクターは、西三河冬春きゅうり部会のキャラクター「きゅりん。」です。西尾市の若手キュウリ生産者がデザインし、現在は同部会のキュウリ出荷袋や部員の名刺などにデザインされています。

キャラクターを活かしてTシャツ・ポロシャツやシール、平成27年にはLINEスタンプも作成しました。部会が地域のイベントに参加した際には顔出しパネルを展示し、SNSでの写真の拡散を狙うなど、時代に対応したPR活動を行っています。



西三河冬春きゅうり部会のキャラクター「きゅりん。」（左）とLINEスタンプの絵柄（右）

【生産者部会情報】

名称：J A西三河きゅうり部会
 部会員数：40人 耕作面積：約11.7畝
 出荷量：3,000ト（平成29年実績、加工品向け出荷等含む）
 収穫期：11月～6月（ピークは4月）

【共販組織情報】

名称：西三河冬春きゅうり部会
 部会員数：93人（西尾市のJ A西三河きゅうり部会、碧南・安城市中心のJ Aあいち中央胡瓜生産部会の2部会で構成）
 出荷先：主に愛知県内の市場
 出荷量：約5,200ト（うち西尾市約2,700ト）（「三河みどり」ブランドのみ、加工品用出荷等含まず）

（全国の生産概況）

全国のキュウリ出荷量：470,600ト（うち冬春キュウリ：274,000ト）
 愛知県のキュウリ出荷量：11,800ト（うち冬春キュウリ：10,200ト）
 データ：農林水産省 作況調査（野菜）平成28年度確報
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001164543>

西尾市では、生産者部会「J A西三河きゅうり部会」を組織するほか、J Aあいち中央胡瓜生産部会とともに共販組織「西三河冬春きゅうり部会」を組織し、共通のブランド「三河みどり」の名前で販売を行っています。